

JICA 九州主催 2022 年度 開発教育指導者研修 報告書

JICA九州主催 2022年度 授業のヒントに!

開発教育指導者研修

6月7月 テーマ **世界の多様性**



【参加対象】九州各県の小・中・高等学校または特別支援学校に勤務する教師、その他教育関係者

参加費 無料
オンライン開催

年11回開催
国際理解教育・SDGs学習
シリーズ第一弾

6月26日(日) 9:30~11:30 (2時間)
7月24日(日) 9:30~11:30 (2時間)

主催：独立行政法人国際協力機構 九州センター JICA

JICA九州主催 2022年度 授業のヒントに!

開発教育指導者研修

8月9月 テーマ **SDGs** SDGsを自分ごととして、
～教室から世界をもっと変えていく～



【参加対象】九州各県の小・中・高等学校または特別支援学校に勤務する教師、その他教育関係者

参加費 無料
オンライン開催

年11回開催
国際理解教育・SDGs学習
シリーズ第二弾

8月21日(日) 9:30~11:30 (2時間)
9月17日(土) 9:30~11:30 (2時間)

JICA

JICA九州主催 2022年度 授業のヒントに!

開発教育指導者研修

9月10月 テーマ **世界の課題**



【参加対象】九州各県の小・中・高等学校または特別支援学校に勤務する教師、その他教育関係者

参加費 無料
オンライン開催

年11回開催
国際理解教育・SDGs学習
シリーズ第三弾

9月30日(金) 19:00~21:00 (2時間)
10月28日(金) 19:00~21:00 (2時間)

JICA

JICA九州主催 2022年度 授業のヒントに!

開発教育指導者研修

10月11月 テーマ **国際協力活動**



【参加対象】九州各県の小・中・高等学校または特別支援学校に勤務する教師、その他教育関係者

参加費 無料
オンライン開催

年11回開催
国際理解教育・SDGs学習
シリーズ第四弾

10月15日(土) 9:30~11:30 (2時間)
11月11日(金) 19:00~21:00 (2時間)

JICA

JICA九州主催 2022年度 授業のヒントに!

開発教育指導者研修

12月1月 テーマ **私たちと世界のつながり**



【参加対象】九州各県の小・中・高等学校または特別支援学校に勤務する教師、その他教育関係者

参加費 無料
オンライン開催

第1回
2022年12月10日(土) 9:30~11:30
第2回
2023年 1月14日(土) 9:30~11:30

JICA

JICA九州主催 授業のヒントに!

開発教育指導者研修

～教員学び合い編～

テーマ **JICA研修・教材を活用して
学校現場がより楽しくなる♪**



【参加対象】九州各県の小・中・高等学校または特別支援学校に勤務する教師、その他教育関係者

参加費 無料
Zoom開催

2023年2月11日(土)
建国記念の日 14:00~16:15

参加者には
JICA特製・授業で使える
映像教材をプレゼント
※参加費が無料です。参加費は、
映像教材の送料のみです。

QRコード
タイムリスト

〈目次〉

研修概要	1 ページ	
実施一覧	2 ページ	
第1・2回研修	世界の多様性	3 ページ
第3・4回研修	SDGs	7 ページ
第5・7回研修	世界の課題	11 ページ
第6・8回研修	国際協力活動	15 ページ
第9・10回研修	私たちと世界のつながり	19 ページ
第11回研修	教員学び合い編	22 ページ

<研修概要>

【目的】

- ①国際理解教育・SDGs 教育について学び、授業で実践
- ②参加者教員間の横のつながり（ネットワーク）を構築
- ③持続的に学びあい、授業実践ができるように継続的に情報共有

【実施回数】

年 11 回開催

- ・「世界の多様性」「SDGs」「世界の課題」「国際協力活動」「私たちと世界のつながり」の 5 つのテーマで各 2 回ずつ実施。
- ・教員同士の「学び合い編」を 1 回実施。

【実施方法】

Zoom オンライン

【参加対象】

九州各県の小・中・高等学校または特別支援学校の教員、その他教育関係者

＜実施一覧＞

回数	日時	時間	研修テーマ	講師名(敬称略)	受講者数
1	2022年6月26日 (日)	9:30～11:30 (2時間)	世界の多様性 第1回	吉岡 康裕	10
2	2022年7月24日 (日)	9:30～11:30 (2時間)	世界の多様性 第2回	吉岡 康裕	11
3	2022年8月21日 (日)	9:30～11:30 (2時間)	SDGs 第1回	庄田 清人	7
4	2022年9月17日 (土)	9:30～11:30 (2時間)	SDGs 第2回	庄田 清人	8
5	2022年9月30日 (金)	19:00～21:00 (2時間)	世界の課題 第1回	猿渡 和則	2
6	2022年10月15日 (土)	9:30～11:30 (2時間)	国際協力活動 第1回	丸田 隆弘	8
7	2022年10月28日 (金)	19:00～21:00 (2時間)	世界の課題 第2回	猿渡 和則	9
8	2022年11月11日 (金)	19:00～21:00 (2時間)	国際協力活動 第2回	丸田 隆弘	5
9	2022年12月10日 (土)	9:30～11:30 (2時間)	私たちと世界のつながり 第1回	森 宏介	12
10	2023年1月14日 (土)	9:30～11:30 (2時間)	私たちと世界のつながり 第2回	森 宏介	12
11	2023年2月11日 (土)	14:00～16:15 (2時間15分)	教員学び合い編	伊東 望 一ノ瀬 めぐみ	24
				合計	108

＜第1・2回研修＞

【テーマ】世界の多様性

【日時】第1回 2022年6月26日(日) 9:30～11:30(2時間)

第2回 2022年7月24日(日) 9:30～11:30(2時間)

【講師】吉岡 康裕(よしおか やすひろ)氏

現在●全国OV教員・教育研究会会長

●東京都小学校副校長(八丈島八丈町立三根小学校)

経歴■JICA海外協力隊(タンザニア、理数科教師)

■マレーシア・クアラルンプール日本人学校教諭

■国内・海外の教育現場で20年以上従事

【チラシ】

JICA九州主催 2022年度 授業のヒントに!

開発教育指導者研修

6月7月 テーマ 世界の多様性

【参加対象】九州各県の小・中・高等学校または特別支援学校に勤務する教師、その他教育関係者

参加費無料
オンライン開催

年11回開催
国際理解教育・SDGs学習
シリーズ第一弾

6月26日(日) 9:30～11:30(2時間)
7月24日(日) 9:30～11:30(2時間)

主催：独立行政法人国際協力機構九州センター JICA九州

2022年度 開発教育指導者研修 実施概要

【実施目的】

- ★国際理解教育・SDGs教育について学び、授業で実践
- ★参加者教員間の横のつながり(ネットワーク)を構築
- ★持続的に学びあい、授業実践ができるように継続的に情報共有

【方法】Zoomオンライン 【参加費】無料 【定員】各回100名
【回数】年11回開催(月1回ないし2回開催予定)
【世界の多様性】「SDGs」「世界の課題」「国際協力活動」「私たちと世界のつながり」の5つのテーマで各2回ずつ実施。教員同士の「学び合い編」を1回実施。各回単発での参加可能。今後の情報は、随時、JICA九州HPに掲載。

【6月7月講師】吉岡 康裕(よしおか やすひろ)氏

現在●全国海外協力隊OV教員・教育ネットワーク会長
●東京都小学校副校長(八丈島八丈町立三根小学校)
略歴■青年海外協力隊タンザニア理数科教師
■マレーシア・クアラルンプール日本人学校教諭
■国内・海外の教育現場で20年以上従事

第1回研修：6月26日(日) 9:30～11:30
研修テーマ：世界の多様性
・タンザニアでの理数科教師としての海外協力隊活動
・マレーシア・クアラルンプールでの教育現場
・世界の多様性を生徒に伝えるには
・参加者教員から質問コーナー など

第2回研修：7月24日(日) 9:30～11:30
研修テーマ：世界の多様性
※第2回の内容は、第1回の内容を基本とし参加者の意見や質問を踏まえて内容更新

タイムスケジュール	内容	詳細
9:15	Zoom Open	
9:30～9:35(5分)	開始	研修趣旨説明、講師紹介
9:35～10:35(60分)	講師講義①	講義：「世界の多様性」
10:35～10:45(10分)	質問コーナー①	質疑応答
10:45～11:00(15分)	講師講義②	講義：「教育現場で児童・生徒に伝えるには」
11:00～11:20(20分)	質問コーナー②	質問に対して参加者を含めた意見交換
11:20～11:30(10分)	終了	インフォメーション、アンケート
11:30～11:45	自由交流	任意参加で自由交流・情報交換

※タイムスケジュールは、目安です。当日、変更可能性があります

【申込方法】インターネットの申込みフォームからお申込みください
★スマートフォンからの場合：右のQRコードを読み取ってください
★パソコンからの場合：下のリンクからアクセスしてください
<https://forms.gle/Ue4SKY2JUGymY397>

【問い合わせ】特定非営利活動法人九州海外協力協会 開発教育指導者研修担当：原口
Tel: 092-710-5310 e-mail: leadership@npo-kyushu.or.jp 住所：福岡市博多区店原町4-8 鎌和ビル503

【内 容】

世界の多様性 第1回：

- ・タンザニアでの理数科教師としての JICA 海外協力隊活動
- ・マレーシア・クアラルンプールでの教育現場
- ・世界の多様性を生徒に伝えるには

世界の多様性 第2回：

- ・タンザニア、バングラデシュ、NASA の話
- ・八丈島での教育現場のお話
- ・世界の多様性を生徒に伝えるには

【参加者満足度】 世界の多様性 第1・2回（12名が回答）

5 とても良かった（満足）～ 1 とても悪かった（不満足）

5 とても良かった（満足）	8名
4	3名
3	1名
2	0名
1 とても悪かった（不満足）	0名

【参加者感想】

- ・先生のマレーシアでの経験に基づく講義を、とても興味深く聴かせていただきました。
- ・様々な国や地域を取り上げてお話しされており、飽きることがなかったです。
- ・色々な国へ行かれていて、実体験を元に話されていて、とてもいい刺激をもらうことができました。国ごとの、子供達を取り巻く環境など聞くことができよかったです。
- ・タンザニアやバングラデシュの様子について、現地に入り込んだからこそその実践をうかがうことができました。私自身マレーシアの学校で活動したことがありました。
- ・色々な切り口、分野からお話を頂き贅沢な情報をたくさん頂いたように感じました。
- ・盛りだくさんの内容でいろんな国やいろんな地域の話しが聞くことが出来て、とても興味深い時間を過ごすことができました。
- ・地域活動で、子どもが自分で考える道標を与えることを目標にしているので、日々の忙しさから遠ざかっていましたが、やはり生徒に還元していかななくてはと考えさせられました。
- ・吉岡先生のお知り合いも多く、コメントなども有意義な時間だった。ありがとうございました！
- ・動画をたくさん提示してもらい、聞いてばかりではなく、視覚資料があってわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ・動画や写真を使い、とても分かりやすい講義でした。参加させていただき、ありがとうございました。

ざいました。

・知らなかったことを知ることができました。いろんなところに行けない中で、こうしてオンラインでつながることができてよかったです。ありがとうございました。

・私自身、次年度は日本人学校派遣を控えています。今回、実際に日本人学校でのことや、環境、実践などを聞くことができ、現地での生活をイメージすることができました。なかなか日本人学校経験者の話を聞く機会はないので、今回、色々聞くことができて良かったです。

【研修の様子】世界の多様性 第1回

在外教育施設

- ・日本人学校 世界50か国 89校
- ・補習授業校 世界52か国 205校

面積: 日本の0.9倍
人口: 3200万人
宗教: イスラム教

マレーシア (マレー半島とボルネオ島の一部)
日本人学校 4校
クアラルンプール
ペナン ジョホールバル コタキナバル



【研修の様子】世界の多様性 第2回

活動風景



＜第3・4回研修＞

【テーマ】SDGs SDGsを自分ゴトに。～教室から世界をちょっと変えていく～

【日時】第3回 2022年8月21日(日) 9:30～11:30(2時間)

第4回 2022年9月17日(土) 9:30～11:30(2時間)

【講師】庄田 清人(しょうた きよひと)氏

- JICA 海外協力隊(マラウイ、コミュニティ開発)
- 株式会社倭乃舎ゼネラルマネージャー
- 一般財団法人ちくご川コミュニティ財団理事
- 一般社団法人 JA-Net 理事
- 理学療法士
- SDGs de 地方創生公認ファシリテーター

【チラシ】

JICA九州主催 2022年度 授業のヒントに!

開発教育指導者研修

8月9月
テーマ **SDGs** SDGsを自分ゴトに。
～教室から世界をちょっと変えていく～



【参加対象】九州各県の小・中・高等学校または特別支援学校に勤務する教師、その他教育関係者

年11回開催
国際理解教育・SDGs学習
シリーズ第二弾

8月21日(日) 9:30～11:30(2時間)
9月17日(土) 9:30～11:30(2時間)

参加費
無料
オンライン
開催



2022年度 開発教育指導者研修 実施概要

【実施目的】

- ★国際理解教育・SDGs教育について学び、授業で実践
- ★参加者教員間の横のつながり(ネットワーク)を構築
- ★持続的に学びあひ、授業実践ができるように継続的に情報共有

【方法】Zoomオンライン 【参加費】無料 【定員】各回100名
【回数】年11回開催(月1回ないし2回開催予定)
「世界の多様性」「SDGs」「世界の課題」「国際協力活動」「私たちと世界のつながり」の6つのテーマで各2回ずつ実施。教員同士の「学び合い編」を1回実施。
各回単発での参加可能。今後の情報は、随時、JICA九州HPに掲載。

【8月9月講師】庄田 清人(しょうた きよひと)氏

- JICA青年海外協力隊 OB(アフリカ・マラウイ派遣)
- 株式会社 倭乃舎 ゼネラルマネージャー
- 一般財団法人、ちくご川コミュニティ財団 理事
- 一般社団法人 JA-Net 理事
- 理学療法士
- SDGs de 地方創生 公認ファシリテーター

第1回研修：8月21日(日) 9:30～11:30
研修テーマ：SDGsを自分ゴトに。～教室から世界をちょっと変えていく～

- ・SDGsとは？(基礎について)
- ・SDGs授業の実践例の紹介(小学校、中学校、高校での実践例)
- ・SDGsカードゲーム体験 (THE SDGsアクションカードゲームX)
- ・参加者教員から質問コーナー など

第2回研修：9月17日(土) 9:30～11:30
研修テーマ：SDGs
※第2回の内容は、第1回の内容を基本とし参加者の意見や質問を踏まえて内容変更

タイムスケジュール	内容	詳細
9:30	Zoom Open	
9:30～9:35 (5分)	開始	研修趣旨説明、講師紹介
9:35～10:28 (55分)	ワークショップ①	「SDGsとは？」
10:28～10:45 (20分)	授業事例紹介	小中高におけるSDGs授業の実践例の紹介
10:45～11:10 (25分)	ワークショップ②	SDGsカードゲーム体験
11:10～11:30 (10分)	質問コーナー	質問に対して参加者を含めた意見交換
11:30～11:30 (10分)	終了	インフォメーション、アンケート
11:30～11:45	自由交流	任意参加で自由交流・情報交換

※タイムスケジュールは、目安です。当日、変更可能性があります

【申込方法】インターネットの申込みフォームからお申込みください
★スマートフォンからの場合：右のQRコードを読み取ってください
★パソコンからの場合：下のリンクからアクセスしてください。
<https://forms.gle/aFxb3WFKoetsBa2d8>

【問い合わせ】特定非営利活動法人九州海外協力協会 開発教育指導者研修担当：原口
Tel: 092-710-5310 e-mail: leadership@npo-kyushu.or.jp 住所：福岡市博多区店屋町4-8 雄和ビル503



【内 容】

SDGs 第 1 回：

- ・ SDGs とは？
- ・ SDGs 授業の実践例の紹介（小学校、中学校、高校での実践例）
- ・ SDGs カードゲーム体験（THE SDGs アクションカードゲーム X）

SDGs 第 2 回：

- ・ SDGs の基礎の振り返り
- ・ 教育現場の課題から考える SDGs（課題の抽出と SDGs との関連）
- ・ SDGs の視点から課題解決ストーリーを考える

【参加者満足度】 SDGs 第 1・2 回（11 名が回答）

5 とても良かった（満足）～ 1 とても悪かった（不満足）

5 とても良かった（満足）	8 名
4	2 名
3	1 名
2	0 名
1 とても悪かった（不満足）	0 名

【参加者感想】

- ・ SDGs の説明がすごくわかりやすかったです。ゲームも楽しむことができました。
- ・ 初心者にわかり易い内容で、私としてはありがたかったです。この事を、今後の公民館事業やまちづくりのボランティア活動に活かしていければと思います。ありがとうございました！
- ・ 庄田さんの実践への想いやアプローチの仕方が明確でわかりやすかった。
- ・ ジブンゴトにすることの難しさに気付けたので、子どもたちへ支援する際の視点を考える必要があることに気付きました。リソースが全然思い浮かばないことから、私自身の視野の狭さを実感しました。これからの授業づくりに活かしていけると感じました。
- ・ SDGs の概要から本質的なことを学んだ上で、目の前の課題の解決策やそのためのリソースを、SDGs の視点で捉える実践的なトレーニングができました。
- ・ 身の回りの困りごとから考え、SDGs を身近に考えられることができました。早速、授業に取り入れたいと思います。
- ・ SDGs を自分ごとにするには、刺さるポイントが人それぞれ違うし、いろんな情報を提示して変容を促していくことが大事だと気付かされました。
- ・ アクションゲームカード実践後の授業展開についての悩みがあったので、それが解消できました。よりよい実践となるよう、これから詰めていけそうです。

・課題を解決していくための手立てを、SDGs のゴールそしてリソースから学ぶことができました。教育現場の生の声を聞くことができ、先生方のユニークな考え方を知ることができました。

・私は日本語指導員という立場ですが、教育課程全体で取り組む EDS に関心があり、外国人児童生徒等教育の文脈を活かした総合的な学習の時間を提案できたらいいなと思っています。今日は、庄田先生や、他のみなさまの学校現場での実践を通して、いろいろ具体的なイメージがふくらみました。課題→原因→SDGs→リソース→ストーリーという流れを体験しながら知ることができたことがいちばん大きな収穫でした。

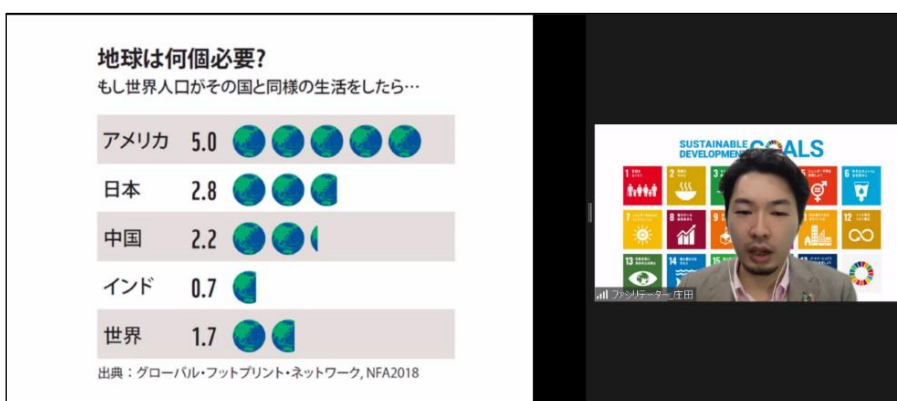
・庄田先生の講話がテンポよく進み、大変分かりやすかったです。また、様々な境遇の生徒さんと接してらっしゃるからか、どんな生徒に対しても実践できるようなワークだと感じました。大変勉強になりました。

・2 時間に重要な内容が凝縮されていたこと、限られた時間の中でも参加者同士で楽しく交流もできたことがとても良かったと思いました。

・グループワークでアクションゲームを短時間でも参加者としての経験ができたのはよかった。また、小学生、中学生の感想や実践された夏休みの課題を拝見して、小学生でもこれだけできるという成果（実践の結果）を見ることができよかった。

・実りある時間をありがとうございました。今回の研修そのもののデザインがとても魅力的、効果的で素敵だなと感じました。講師の方やサポートくださっているみなさまもとても丁寧でわかりやすく、あたたかく、参加しやすい雰囲気でした。

【研修の様子】SDGs 第 1 回





【研修の様子】SDGs 第2回

SDGsとは

地球上の人類やあらゆる生命が、
地球にずっと生き続けられるようにするために、
世界や社会をより良くする17の目標のこと

2030年
までの目標

17の目標とは？



＜第5・7回研修＞

【テーマ】世界の課題

【日時】第5回 2022年9月30日(金) 19:00～21:00 (2時間)
 第7回 2022年10月28日(金) 19:00～21:00 (2時間)

【講師】猿渡 和則 (さるわたり かずひろ) 氏

現在●福岡県飯塚市立飯塚第二中学校校長

- 福岡県 SDGs 教員ネットワーク代表
- 福岡県国際理解教育研究会研究部長
- 筑豊地区国際理解教育研究会副会長略歴

経歴■JICA 海外協力隊 (セントビンセント及びグレナディーンズ諸島、体育指導)

■カンボジアシュムリアップ市教員養成プロジェクト専門家

【チラシ】



開発教育指導者研修
9月10月 テーマ **世界の課題**

【参加対象】九州各県の小・中・高等学校または特別支援学校に勤務する教師、その他教育関係者

年11回開催
国際理解教育・SDGs学習
シリーズ第三弾

9月30日(金) 19:00～21:00 (2時間)
10月28日(金) 19:00～21:00 (2時間)

参加費無料
オンライン開催

2022年度 開発教育指導者研修 実施概要

【実施目的】

- ★国際理解教育・SDGs教育について学び、授業で実践
- ★参加者教員間の横のつながり(ネットワーク)を構築
- ★持続的に学びあい、授業実践ができるように継続的に情報共有

【方法】Zoomオンライン 【参加費】無料 【定員】各回100名
 【回数】年11回開催(月1回ないし2回開催予定)

「世界の多様性」「SDGs」「世界の課題」「国際協力活動」「私たちと世界のつながり」のあつこのテーマで各2回ずつ実施。教員同士の「学び合い」を1回実施。
 各回単発での参加可能。今後の情報は、随時、JICA九州HPに掲載。



【9月10月講師】猿渡 和則 (さるわたりかずひろ) 氏
 現在●福岡県飯塚市立飯塚第二中学校校長
 ●福岡県SDGs 教員ネットワーク代表
 ●福岡県国際理解教育研究会 研究部長
 ●筑豊地区国際理解教育研究会 副会長
 略歴■青年海外協力隊 セントビンセント及びグレナディーンズ諸島 体育指導
 ■カンボジアシュムリアップ市教員養成プロジェクト専門家

第1回研修：9月30日(金) 19:00～21:00
 研修テーマ：世界の課題
 ・青年協力隊活動での気づき
 ・今、学校現場に求められていること
 ・世界の課題を「自分ごと」とするための学校での取り組み
 外国からのJICA青年研修員を学校に招待した事例
 世界のつながりを実感する取り組み事例
 UAEオリンピック組織委員会とのシルクプロジェクト
 ユニクロ・GUとの服のチカラプロジェクト 等

第2回研修：10月28日(金) 19:00～21:00
 研修テーマ：世界の課題
 ・世界の課題を身近な課題から考える
 ・総合的な学習の時間における探究的な学習の事例
 ・生徒の視野を広げるワークショップ事例 等

タイムスケジュール	内容	詳細
18:50	Zoom Open	
19:00～19:05 (5分)	開始	研修趣旨説明、講師紹介
19:05～19:50 (45分)	講師講義①	上記内容に関する講義①
19:50～20:00 (10分)	質問コーナー	質疑応答
20:00～20:30 (30分)	講師講義②	上記内容に関する講義②
20:30～20:50 (20分)	質問コーナー	質問に対して参加者を含めた意見交換
20:50～21:00 (10分)	終了	インフォメーション、アンケート
21:00～21:15	自由交流	任意参加で自由交流・情報交換

※タイムスケジュールは目安です。当日変更する可能性があります。

【申込方法】インターネットの申込みフォームからお申込みください
 ＊スマートフォンからの場合：右のQRコードを読み取ってください
 ＊パソコンからの場合：下のリンクからアクセスしてください。
<https://forms.gle/foemshq4C6e983x6>

【問い合わせ】特定非営利活動法人九州海外協力協会 開発教育指導者研修担当：原口
 Tel. 092-710-5310 e-mail: leadership@ngo-kyushu.or.jp 住所：福岡市博多区店屋町4-8 蝶和ビル503



【内 容】

世界の課題 第1回：

- ・ JICA 海外協力隊活動での気づき
- ・ 今、学校現場に求められていること
- ・ 世界の課題を「自分ごと」とするための学校での取り組み
 - 外国からの JICA 青年研修員を学校に招聘した事例
 - 世界とのつながりを実感する取り組み事例
 - UAE オリンピック組織委員会とのシルクプロジェクト
 - ユニクロ・GU との服のチカラプロジェクト

世界の課題 第2回：

- ・ 世界の課題を身近な課題から考える
- ・ 総合的な学習の実践事例
- ・ 生徒の視野を広げるワークショップ事例等

【参加者満足度】 世界の課題 第1・2回（4名が回答）

5 とても良かった（満足）～ 1 とても悪かった（不満足）

5 とても良かった（満足）	2名
4	1名
3	1名
2	0名
1 とても悪かった（不満足）	0名

【参加者感想】

- ・ 自分の国際理解教育の引き出しを増やすことができました。また、JICA の話も聞くことができ、教員として JICA 海外協力隊に参加したい気持ちが高まりました。
- ・ 学校・子どもたちとの関わりの中で丁寧な活動の中を通して改革を行った猿渡先生のお話を伺ってとても感銘を受けております。
- ・ 校長先生がリーダーシップをとって国際理解教育をすすめていく事例は初めて聞いたので、大変勉強になりました。SDGs を基にした教育目標がはっきりしているのが印象的でした。猿渡校長先生のもとで働く教員の方々も進むべき方向が分かりやすく、きっと生き生きと働かれているのだろうと感じました。
- ・ 私が国際理解教育に興味を持ったきっかけが、カンボジアのシャムリアップで早朝からポストカードを売っていた小学生の女の子たちの存在でした。私が今後何かできることはないか模索していましたので、道筋ができてきました。

・少人数に分かれてのグループワークはとても面白く勉強になりました。小学校教諭、中学校教諭等、校種別のグループの方が、より具体的に話し合えたかもしれないとも思いましたが、今回のグループ分けも違う種類の話の聞いたのでそれはそれで良かったです。

【研修の様子】世界の課題 第1回



【研修の様子】世界の課題 第2回





＜第6・8回研修＞

【テーマ】国際協力活動

【日時】第6回 2022年10月15日(土) 9:30～11:30 (2時間)
 第8回 2022年11月11日(金) 19:00～21:00 (2時間)

【講師】丸田 隆弘(また たかひろ)氏
 現在●特定非営利活動法人九州海外協力協会事務局長
 経歴■JICA 海外協力隊(ホンジュラス、村落開発普及員)
 ■JICA ニカラグア事務局長
 ■JICA ボランティア調整員(現 企画調査員)
 ホンジュラス、ドミニカ共和国、グアテマラ

【チラシ】



開発教育指導者研修
10月11月 テーマ **国際協力活動**

年11回開催
国際理解教育・SDGs学習
シリーズ第四弾

10月15日(土) 9:30～11:30 (2時間)
11月11日(金) 19:00～21:00 (2時間)

参加費 無料
オンライン開催

2022年度 開発教育指導者研修 実施概要

【実施目的】

- ★国際理解教育・SDGs教育について学び、授業で実践
- ★参加者教員間の横のつながり(ネットワーク)を構築
- ★持続的に学びあい、授業実践ができるように継続的に情報共有

【方法】Zoomオンライン 【参加費】無料 【定員】各回100名
 【回数】年11回開催(月1回ないし2回開催予定)
 「世界の多様性」「SDGs」「世界の課題」「国際協力活動」「私たちと世界のつながり」の5つのテーマで各2回ずつ実施。教員同士の「学び合い」を1回実施。
 各回単発での参加可能。今後の情報は、随時、JICA九州HPに掲載。



【10月11月講師】丸田 隆弘(また たかひろ)氏
 現在●特定非営利活動法人九州海外協力協会 事務局長
 略歴■青年海外協力隊 ホンジュラス 村落開発普及員
 ■JICA事務局長 ニカラグア
 ■JICAボランティア調整員(現 企画調査員)
 ホンジュラス、ドミニカ共和国、グアテマラ

第1回研修：10月15日(土) 9:30～11:30 第2回研修：11月11日(金) 19:00～21:00

研修テーマ：国際協力活動 研修テーマ：国際協力活動

- ・ホンジュラスでの海外協力隊活動
- ・ドミニカ共和国、グアテマラ、パラグアイ、グアテマラ隊員の活動紹介
- ・JICAボランティアOV教室での活用例 等
- ・ブラジルへの移住の歴史と日本からの支援
- ・ブラジル日系人 香山イサム氏について
- ・教育現場への活用例 等

タイムスケジュール	内容	詳細
9:20 ……第1回、以下略	Zoom Open	
18:50 ……第2回、以下略		
9:30～9:35	開始	研修趣旨説明、講師紹介
9:35～10:20	講師講義①	講義：第1回「JICA海外協力隊活動の果実」 第2回「移住の歴史と日本からの支援」
10:20～10:30	質問コーナー	質疑応答
10:30～10:35		
10:35～10:50	講師講義②	講義：第1回「JICAボランティアOV教室での活用例」 第2回「教育現場への活用例」
10:50～11:00	質問コーナー	質問に対して参加者を含めた意見交換
11:00～11:20		
11:20～11:30	終了	インフォメーション、アンケート
20:50～21:00	自由交流	任意参加で自由交流・情報交換
21:00～21:15		

※タイムスケジュールは目安です。当日変更する可能性があります。

【申込方法】インターネットの申込みフォームからお申込みください
 ★スマートフォンからの場合：右のQRコードを読み取ってください
 ★パソコンからの場合：下のリンクからアクセスしてください
<https://forms.gle/qSObYhneXheEPi29>

【問い合わせ】特定非営利活動法人九州海外協力協会 開発教育指導者研修担当：原口
 Tel: 092-710-5310 e-mail: leadership@npo-kyushu.or.jp 住所：福岡市博多区店原町4-8 蝶和ビル503

【内 容】

国際協力活動 第1回：

- ・ホンジュラスでの JICA 海外協力隊活動
- ・ JICA 海外協力隊（グアテマラ、数学教員） 山本真弓さんから活動紹介
- ・グアテマラにおける教室での実践例

国際協力活動 第2回：

- ・ドミニカ共和国、グアテマラ、パラグアイ、ブラジルへの移住の歴史と日本からの支援
- ・パラグアイ日系移住者 イグアス移住史料館館長 園田八郎氏からの話
- ・教育現場への活用例

【参加者満足度】 国際協力活動第1・2回（6名が回答）

5 とても良かった（満足）～ 1 とても悪かった（不満足）

5 とても良かった（満足）	5名
4	1名
3	0名
2	0名
1 とても悪かった（不満足）	0名

【参加者感想】

- ・実際に JICA 海外協力隊としていかれている方々のお話を聞かせていただいて、現地に行ってみないとわからないことが沢山あるということ、日本での生活がどこでも当たり前ではないということを知ることができました。
- ・ JICA 海外協力隊活動、ボランティア活動の中で実体験の中で、その意味を深掘りして考えることを再認識させてもらいました。
- ・現地の先生の教育環境がまだまだ改善していないことなど、生の声が聞けたことが良かったです。
- ・シンプルに提供される情報で、開発途上国についても知れる、また日本とは違う生活環境も臨場感もって知れる。短時間での授業に活用も十分可能と思います。ありがとうございました。
- ・ホンジュラスの講義の最初に任国紹介、(地図、風土、治安など)があり、現地のホセ君の背景がよりよく理解できました。グアテマラのはなしは 活動の専門性だけではなかったなので、数学や教員の専門知識がなくても取り組みがわかりました。
- ・移住者のお話を直接伺うことができてよかったです。
- ・現地で働かれている山本さんのお話や丸田さんのエピソードから教育現場に活かせるものがたくさんあったため。教員が知っておくべき世界の現状について学ぶことができました。

た。

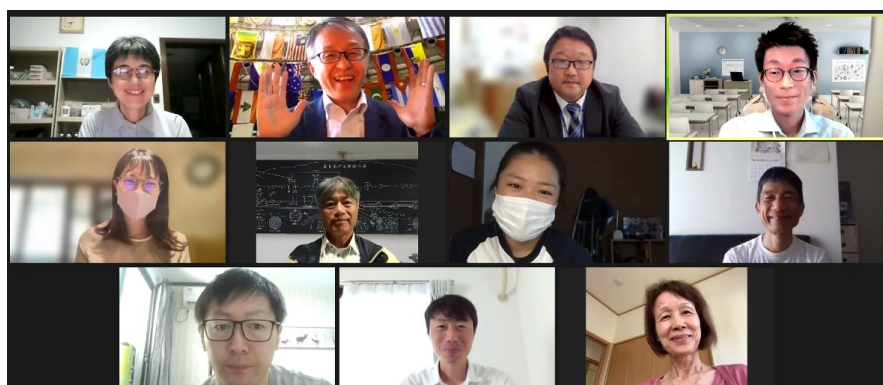
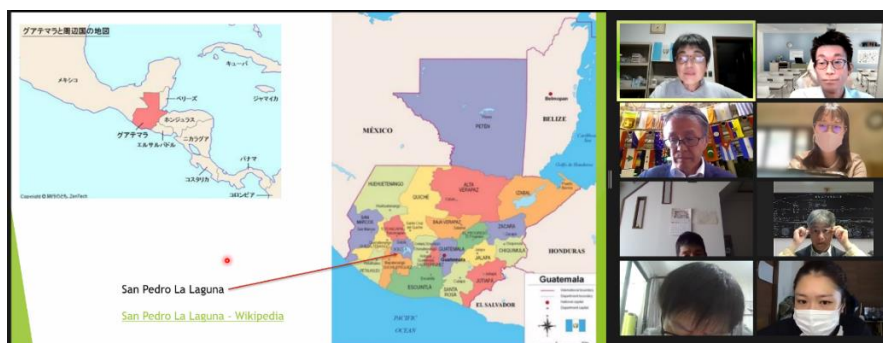
・自身の振り返りができて、今後の活動に活かせると思いました。このような機会を与えて下さってありがとうございました。

・丸田さんの話がとてもわかりやすく、異文化理解、国際協力の点で有意義だった。ホンジュラスのことを知るきっかけになった。ボランティアが派遣されて、3か月で小波、半年で大波のくだりには大いに共感しました。

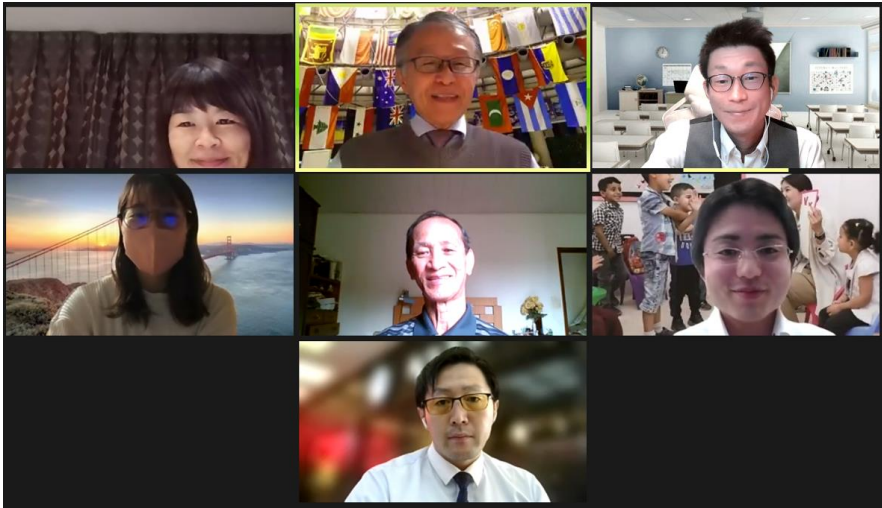
・全校の子ども達に話をする機会がある立場ですので、今回のお話を現場の教員と子どもたちに伝えたいと思います。

・現地の隊員の方の活動での評価できること、逆に課題点など、複数回、複数の方々から具体例を挙げてのお話を聴く機会があればもっと良いかと思います。それに対して、学識経験者の専門の先生からコメントをもらう形式にするとさらに有意義になるのではと思いました。また、機会がありましたら、参加させて頂きたいです。ありがとうございました。

【研修の様子】国際協力活動 第1回



【研修の様子】国際協力活動 第2回



<第9・10回研修>

【テーマ】 私たちと世界のつながり

【日 時】 第9回 2022年12月10日(土) 9:30~11:30 (2時間)

第10回 2023年1月14日(土) 9:30~11:30 (2時間)

【講師】 森 宏介 (もり ひろすけ) 氏

現在●福岡外語専門学校副校長

経歴■福岡市立学校校長

■福岡県国際理解教育研究会会長

■NPO法人アジア太平洋子ども会議・イン福岡教育交流部会長

■校長としてシンガポール補習授業校、米国ワシントン補習授業校に勤務
(文科省派遣教員)

【チラシ】

JICA九州主催 2022年度 授業のヒントに!

開発教育指導者研修

12月1月 テーマ 私たちと世界のつながり

第1回 2022年12月10日(土) 9:30~11:30

第2回 2023年1月14日(土) 9:30~11:30

参加費 無料 オンライン開催

2022年度 開発教育指導者研修 実施概要

【参加対象】九州各県の小・中・高等学校または特別支援学校の教師、その他教育関係者

【実施目的】★国際理解教育・SDGs教育について学び、授業で実践
★参加者教員間の横のつながり(ネットワーク)を構築
★持続的に学びあい、授業実践ができるように継続的に情報共有

【参加費】無料 【方法】Zoomオンライン 【定員】各回30名
「世界の多様性」「SDGs」「世界の課題」「国際協力活動」「私たちと世界のつながり」の5つのテーマで年間を通じて各2回ずつ実施。各回単発での参加可能。
教員同士の「学び合い場」を2023年2月に実施予定。今後の情報は、JICA九州HPに掲載。

【講師】森 宏介(もり ひろすけ)氏
現在●福岡外語専門学校 副校長
経歴■福岡市立学校 校長
■福岡県国際理解教育研究会 会長
■NPO法人アジア太平洋子ども会議・イン福岡 教育交流部会長
■校長としてシンガポール補習授業校、米国ワシントン補習授業校に勤務(文科省派遣教員)

【教師としての研究領域】
国際理解教育・開発教育・社会科、生活科、日本語教育(継承日本語・外国人児童生徒のための日本語)

第1回：2022年12月10日(土) 9:30~11:30
「ヒト・モノ・コトでつながる世界：様々な資料をもとに繋がり方を見てみよう！」
・JICA資料「つながる世界と日本」と講師資料「留学生の現状と日本の将来展望」を用いた講義とワークショップ
・福岡外語専門学校の留学生の推移にみる世界と日本の留学事情
・日本を留学先に選ぶ理由と日本の将来展望など

第2回：2023年1月14日(土) 9:30~11:30
「私の教師生活と国際理解教育：私の実践を紹介します」
・国際理解教育との出会い(飯倉小学校での実践紹介)
・いつでもどこでも国際理解教育(1時間ですべてを国際教育実践例紹介)
・総合学習の時間で実践する国際理解教育(講師の実践例紹介)など

タイムスケジュール	内容	詳細
9:30~9:35 (5分)	開始	研修趣意説明、講師紹介
9:35~10:15 (40分)	講義①	第1回：「ヒト・モノ・コトでつながる世界」 第2回：「私の教師生活と国際理解教育の授業づくり」
10:15~10:45 (30分)	ワークショップ	教材づくりのアイデアを出し合おう
10:45~11:10 (25分)	講義②・まとめ	第1回：「留学生の現状と日本の将来展望」 第2回：「国際理解教育#私の実践例」
11:10~11:25 (15分)	質問コーナー	
11:25~11:30 (5分)	終了	インフォメーション、アンケート
11:30~12:00	自由交流	任意参加で自由交流・情報交換

※タイムスケジュールは、目安です。変更する場合があります。

【申込方法】インターネットの申込みフォームからお申込みください
★スマートフォンからの場合：右のQRコードを読み取ってください。
★パソコンからの場合：下記URLからアクセスしてください。
<https://forms.gle/UjTwrSAsfyTTAed9>

【問い合わせ】特定非営利活動法人九州海外協力協会 開発教育指導者研修担当：原口
Tel. 092-710-5310 e-mail leadership@npo-kyushu.or.jp 住所：福岡市博多区店屋町4-6 蝶和ビル503

【内 容】

私たちと世界のつながり 第1回：

- 「ヒト・モノ・コトでつながる世界：様々な資料をもとにつながり方を見てみよう！」
- ・ JICA 資料「つながる世界と日本」と講師資料「留学生の現状と日本の将来展望」を用いた講義とワークショップ
- ・ 福岡外語専門学校の留学生の推移にみる世界と日本の留学事情
- ・ 日本を留学先を選ぶ理由と日本の将来展望

私たちと世界のつながり 第2回：

- ・ 国際理解教育との出会い（飯倉小学校での実践紹介）
- ・ いつでも・どこでも国際理解教育（1時間でできる国際教育実践例紹介）
- ・ 総合的学習の時間で実践する国際理解教育（講師の実践例紹介）など

【参加者満足度】私たちと世界のつながり第1・2回（15名が回答）

5 とても良かった（満足）～ 1 とても悪かった（不満足）

5 とても良かった（満足）	8名
4	7名
3	0名
2	0名
1 とても悪かった（不満足）	0名

【参加者感想】

- ・ ワークショップでの横のつながりができたことは、よかったです。また、森先生の経験に裏打ちされた講義も大変参考になりました。私自身、小中学校で先生方へ実践できる国際理解を自分自身で学び、伝授、啓発していきたいと思います。
- ・ 森先生がどんな質問にもものすごく明確に答えていらっしゃる、また広い経験に裏付けされたしっかりと芯の通ったお考えを持っていらっしゃるののでわかりやすかったです。
- ・ 豊富な経験をお持ちの講師となんでも質問できる雰囲気よかったです。
- ・ 森先生の実践は、すぐに実践したいと感じました。SDGsの実践を考えられる場面もあり、身になる研修でした。
- ・ 海外日本人学校での教育実践例を伺い、今後自身もいつか挑戦したいと思っていますので、その参考になりました。
- ・ 海外での実践は日本でも実践できることが分かりました。
- ・ 森先生の若い頃からの歩みや研究が知れて大変勉強になりました。本当にありがとうございました。日本人学校に勤めながらも、韓国の歴史の翻訳や研究をするなどその溢れるパワーや旺盛な好奇心に感動しました。この前までインドに住んでいましたが、その間子育てし

かしていなかった自分を恥ずかしく思いました。これからは機を逃さずに研究をして国際教育に使えるような題材探しに尽力し、社会の役に立てるように努力したいと思います。

【研修の様子】 私たちと世界のつながり 第1回


JICA九州主催

開発教育指導者研修 12月10日(土)

「ヒト・モノ・コト」でつながる世界

様々な資料をもとにつながり方を見てみよう！

福岡外語専門学校 森 宏介






【研修の様子】 私たちと世界のつながり 第2回

私の国際理解教育の実践履歴

- 1983年 福岡市立学校教諭として採用
- 1984年～1989年まで勤務校で体育科の研究に従事
- 1987年～1989年 福岡市教育センター社会科研究室非常勤研修員
- 1989年 飯倉小学校に転任（社会科研究校）
- 山田耕司先生（国際理解教育）との出会い
- 1992年 ソウル日本人学校に赴任
- 1995年 帰国 アジア太平洋子ども会議
- 教室から世界をのぞこう 等に参画
- 1998年 香陵小学校に転任
- 研究主任として国際理解教育の実践を行う

本日は、そのなかの代表的な実践を紹介します。





＜第 11 回研修＞

【テーマ】 教員学び合い編 JICA 研修・教材で学校現場がより楽しくなる

【日 時】 2023 年 2 月 11 日 (土) 14:00～16:15 (2 時間 15 分)

【講 師】 一ノ瀬 めぐみ (いちのせ めぐみ) 氏

- 長崎精道小学校 小学 5 年担任
- 2022 年度教師国内研修参加

伊東 望 (いとう のぞみ) 氏

- 宮崎学園高等学校 高校 3 年担任
- 2016 年度教師海外研修 (マラウイ) 参加
- 開発教育指導者研修参加

【チラシ】

JICA九州主催 授業のヒントに!

開発教育指導者研修 ～教員学び合い編～

テーマ **JICA 研修・教材を活用して
学校現場がより楽しくなる**

やりたいけど
時間がない!
そんなとき
どうする?



学校現場の
悩みを同志で
共有しません
か?

参加費
無料
Zoom
開催

2023年2月11日 (土)
建国記念の日 14:00～16:15

参加者には
**JICA特製・授業で使える
映像教材をプレゼント**

※最初から最後まで参加され、
実施後の簡単なアンケートに答えていただいた方に限りです



映像教材
ダイジェスト版

研修名: JICA 研修・教材で学校現場がより楽しくなる

【参加対象】九州各県の小・中・高等学校または特別支援学校の教員、その他教育関係者
【ねらい】①JICA研修や教材について学び、学校での活用例を知る
②学校現場での悩みをJICA研修で解決する方法を学ぶ
③参加者がディスカッションの時間を通して、ネットワークを作る
【参加費】無料 【方法】Zoomオンライン 【定員】30名



一ノ瀬 めぐみ 先生
●長崎精道小学校 小学5年担任
●2022年度教師国内研修参加

活動紹介①
・教師国内研修に参加しての取り組み紹介
・ワークショップを活用した学校での実践
・オリジナルロールプレイやってみませんか?
『小さな一歩がクラスを、学校を、世界を変える
～教師国内研修の学びを活かして～』

女子校である長崎精道小・中学校では、国際的なしディを目指す教育を行っています。小学5年生では総合的な学習の時間で、国際教育を実施しています。

伊東先生は、多くの研修に参加し、その実践を学校全体で行っています。ポータルスクールアプローチの方法を聞いてみませんか?

伊東 望 先生
●宮崎学園高等学校 高校3年担任
●2016年度教師海外研修 (マラウイ) 参加
●開発教育指導者研修参加

活動紹介②
・海外研修後の学校での取り組み紹介
・「楽しい!」と思えることは、きっとどこかに繋がっていく!～生徒と一緒に帰って、先生たちを巻き込み～
宮崎の高校から、世界と繋がるための挑戦!～



タイムスケジュール	内容	講師
14:00～14:10 (10分)	開始	研修趣旨説明、スピーカー紹介
14:10～14:50 (40分)	活動紹介① 一ノ瀬めぐみ先生	講演、質疑応答
14:55～15:35 (40分)	活動紹介② 伊東望先生	講演、質疑応答
15:35～16:10 (35分)	学び合い ディスカッション	ポータルスクールアプローチって? 「忙しい学校生活での取り入れ方」
16:10～16:15 (5分)	終了	インフォメーション、アンケート
16:15～16:45 (30分)	自由交流	任意参加で自由交流・情報交換

※タイムスケジュールは、目安です。変更する場合があります。

【申込方法】インターネットの申込みフォームからお申込みください
★スマートフォンからの場合: 右のQRコードを読み取ってください
★パソコンからの場合: 下記URLからアクセスしてください
<https://forms.gle/SJ8U3cshyML597E8>
【問い合わせ】特定非営利活動法人九州海外協力協会 開発教育指導者研修担当
Tel. 092-710-5310 e-mail. leadership@npo-kyushu.or.jp 住所: 福岡市博多区店原町4-8 録和ビル503



【内 容】

JICA 研修・教材で学校現場がより楽しくなる

①活動紹介 一ノ瀬 めぐみ 先生

- ・教師国内研修に参加しての取り組み紹介
- ・ワークショップを活用した学校での実践
- ・オリジナルロールプレイやってみませんか？

『小さな一歩がクラスを、学校を、世界を変える ～教師国内研修の学びを活かして～』

②活動紹介 伊東 望 先生

- ・海外研修後の学校での取り組み紹介
- ・「楽しい！」と思えることは、きっとどこかに繋がっていく！
～生徒と一緒に悩んで、先生たちを巻き込み…

宮崎の高校から、世界と繋がるための挑戦！～

③学び合いディスカッション

- ・「忙しい学校生活での取り入れ方」ホールスクールアプローチって？

【参加者満足度】 教員学び合い編 (18名が回答)

5 とても良かった (満足) ～ 1 とても悪かった (不満足)

5 とても良かった (満足)	12名
4	6名
3	0名
2	0名
1 とても悪かった (不満足)	0名

【参加者感想】

・一ノ瀬先生の世界と繋がった SDGs の授業、伊東先生の生徒の自発的な行動からバッグ販売まで行うことなど、非常に参考になることばかりでした。

・私は今年、JICA ボランティアでケニアの特別支援学校へ派遣の予定です。JICA の現在や過去に参加されている先生方とたくさん交流ができ、とても刺激になりました。また、内容としましても、学校での実際の取り組みや、その取り組みによる子どもたちの変化を聞き、今後の子どもたちへの支援にも取り込みたいと思いました。JICA ボランティアでのケニアの人との関わりにも活かしたいです。

・発表者が二人ともいきいき発表されており、「自分もやってみたい」という思いになることができたから。それに、ブレイクアウトセッションも多く、時間は短かったですが、交流を持てたところがよかった。

・生徒のためになる活動の実践報告を聞いたことが1番です。国際交流やキャリア教育との

つながりが分かり少し興味が湧き、私もこれから少しずつ勉強をしようかなという考えになりました。きっかけをいただきありがとうございました。

・現場での実践に役立つ情報をいただきました。また、講師の方の熱量の高いお話を聴かせていただけてよかったです。

・「高校生実体験プログラム」や「ESD カレンダー」など、学校全体で取り組めそうな方法を知ることができました。少しでも多くの生徒のためになるような取り組みが今後できたらと思えました。また、私は今 JICA 海外協力隊として海外に居るので、現地の方の収入向上のために日本と販売や寄付を通して何か繋がりを作りたいと思いました。

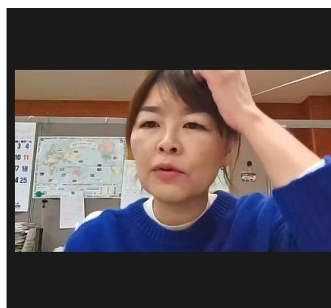
・JICA でどのような取り組みをしているのか、わかりました。皆さんの学校での取り組みが分かり勉強になりました。ありがとうございました。

・スタッフの皆さんが終始にこやかで、とてもいい雰囲気を作ってください参加しやすかったです。ありがとうございました。

【研修の様子】



2016年 JICA九州
教師海外研修プログラム(マラウイ)参加





以上